



# 言葉をつなぐ 心をつなぐ 親子をつなぐ



日時：平成29年11月12日(日) 13:00~15:00 会場：高知中央公民館 かるぽーと9階和室(高知県高知市九反田2-1)  
 内容：親守詩鑑賞会・抹茶(和菓子)、記念講演「親子の絆と親守詩」 杉本哲也氏(親学推進協会理事) 高知親守詩コンクール入賞者表彰式  
 参加：156名(受賞者およびご家族、来賓、演奏者、事務局スタッフ 含む)  
 主催：TOSS高知 共催：日本教育文化研究所高知支部 TOSS南国free-way 高知五色百人一首協会 江戸千家不白会  
 後援：高知県教育委員会、高知市、高知市教育委員会、高知県社会福祉協議会、高知市社会福祉協議会、香南市、香南市議会、高知新聞社、毎日新聞社、一般財団法人親学推進協会

## 応援メッセージ一覧

(メッセージの一部を掲載しています)

皆様のあたたかい応援、本当にありがとうございます！



■衆議院議員 中谷 元 様

親子のコミュニケーションを密にする為には、お互いに大切な存在である旨を言語化することが大切であり、親守詩は双方の想いを確認し合うことが出来る素晴らしい文化であると存じます。



■高知県議会議員 浜田 豪太 様

流れゆく日々の想いや事柄には、親子の絆や愛情がたくさん散りばめられています。「親守詩」を通して、そのかけらを言葉にし、共鳴し合うことで、いつの日かその詩がそっと背中を押してくれたり、支えてくれることと思います。

■一般財団法人親学推進協会 会長 高橋 史朗 様  
親守詩の普及発展が、親子の絆や日本人が昔から持つ美しい心の涵養につながりますことを心より祈念いたしております。

■高知県議会議員 田中 徹 様  
少子高齢化や働き方の多様化、核家族化の進行などにより人々の生き方や暮らし方が多様化する今日において、親子の絆がしっかり結ばれ、子どもの情緒が安定することは、何よりも重要であります。

■高知県教育委員会事務局参事 長岡 幹泰 様  
受賞された作品からは、親子の温かい関係や祖父母を気遣う思いやりの心などが手に取るように伝わってきます。普段は面と向かって言えないことを親守詩にすることで、感謝や慈愛の念が深まり、読む者の心を打つでしょう。

## ご来賓の皆様からお祝いのメッセージをいただきました！



■高知市議会議員 浜口 卓也 様

親子で詩を詠み合うというのは少し気恥しいかもしれませんが、これがいつの日かよい思い出になり、ふとしたときに思い返す日が訪れるでしょう。



■香南市議会議員 宮崎 晃行 様

親守詩に込められた思いやりにあふれた感謝の気持ちや励ましは、親子の絆を深め、いつまでも忘れられない思い出として、人生を彩ることと思います。

■安芸市教育長 森田 直志 様  
作品を読み、親子のすてきな関係がストレートに感じられ、いつもほのぼのとした気持ちにさせられるのは、私一人ではないと思います。だからこそ、この取組を通して、親子の絆がさらに深くなりますことを期待しております。

■高知中央郵便局長 山田 正雄 様  
自筆の手紙で想いを伝える郵便と同じように、短歌を通じて「子を思う親の心」と「親に感謝する子の心」を伝え、絆を深める親守詩は、どんな時代になっても、何歳になっても「心をつなぐ」大切な宝であり、次の世代にも受け継いでいただきたいすばらしい取組です。

# 「心温まる作品の数々：」 第四回親守詩コンクール受賞作品

## 親学推進協会賞

### 〔定型詩の部〕

おかあさん じみにやさしい ありがとう  
 気持ち込め 母になりきり 家事掃除  
 出産時 もらったテレカ いまだ持つ

奈路小学校 三年 佃 栄理子  
 伊野南中学校 三年 岡村 愛菜  
 岡豊高校 三年 徳善 陽瀬

### 〔連歌の部〕

お母さん 寝る時横に 行きたいな  
 弟寝たら 抱っこで寝よう  
 ゆうかちゃん どうよのあさの ふれあいごと  
 たのしかったね とてもつよいね

ひまわり学園 五歳 伊東 奈央  
 佐古小学校 一年 呉田 鈴恋  
 三年 田村 優佳

いい気持ち 母のだこは あったかい  
 かわいいあなたを ギュッとする  
 なつやすみ 楽しかったよ ぼんおどり  
 えがおでおどる きみはいつこに

山田小学校 二年 堀内 柚奈  
 三年 小笠原来夢

## 竹林寺賞

### 〔定型詩の部〕

ありがとう 十一年間 ありがとう  
 家族への 感謝いっぱい この心  
 追い越せぬ 生きた年数 積もった愛

横内小学校 五年 千光士 純也  
 横内小学校 五年 久保 柚葉  
 岡豊高校 三年 友繁 真希

### 〔連歌の部〕

赤とんぼ 捕まえ入れた 虫かごに  
 眺めて逃がす 優しい気持ち  
 お父さん お休みの日も 早く起きて  
 お休みの日は ゆっくりねたい  
 ありがとう つたえる機会は このうたで  
 寝顔見想う 十年の日々  
 お父さん ぼくの気持ちを わかってる  
 大好きだけど すなおになれず

ひまわり学園 四歳 紀伊 陽仁  
 あとむ学園 五歳 織野 航成  
 横内小学校 五年 池 彩弓  
 横内小学校 五年 井上 結稀

## 高知県教育長賞

おかあさん せんたくものを たたんだよ  
 その温もりは 胸にしまうね

赤野小学校 三年 細川 眺碧

## 高知市長賞

十三年の 何気ない日々 幸せです

旭中学校 二年 百田 怜央

## 高知市教育長賞

アンパンチ 皆のために 空を飛ぶ  
 いつかあなたも 人助けする

ひまわり学園 四歳 山本 康太郎

## 香南市長賞

おじいちゃん イノシシ狩りで 気を付けて 佐古小学校 四年 芝 悠希

## 香南市議会議員賞

母さんに 生まれて会えて よかったな 佐古小学校 四年 春日井 凜

## 審査員特別県議会議員賞

おばあちゃん いっしょにねてくれて ほっとする 春野西小学校 一年 中村 臨成

口下手な 父の顔みて 意思疎通 岡豊高校 三年 赤松 夕夏

お母さん 疲れましたか 休んでね 一般 一歳 和田 颯

## 〔連歌の部〕

捨てちゃだめ ダンボール箱 基地作る  
 そうは言っても 作るのパパよ ひまわり学園 四歳 門脇 舞桜  
 お父さん なんでそんなに 大きいの  
 たくさん食べて いつか追いこせ ひまわり学園 五歳 鶴見 隼士  
 見たいんだ 早起きするよ テレビのため  
 外で遊べよ わが子どもたち 山田小学校 二年 北川 碧都  
 ばあちゃんの サツマイモカレー 大好物 馬路小学校 六年 濱渦 幸  
 うれしくてつい 作りすぎ

## 審査員特別市議会議員賞

### 〔定型詩の部〕

おとうさん はたけしごと おつかれさま

春野西小学校 一年 濱口 真桜

### 〔連歌の部〕

友が言う「親と似てるね」嬉しいな 伊野南中学校 三年 井上 彩香  
 お母さん おさしみとっても 美味しいね あとむ学園 五歳 田中 彩琉  
 やつと食べれた 次何にする？ ひまわり学園 五歳 大野 愛実  
 ママいない お風呂ほんとは 寂しいの  
 姉弟三人 楽しそうなのに 山田小学校 二年 柴原 陽色  
 おかあさん せんたくしてね ありがとう 山田小学校 二年 柴原 陽色  
 しあわせくれる おかえしですよ  
 夏休み めいわくかけて ごめんささい  
 いったい何が めいわくなんだ？ 横内小学校 五年 和田 愛翔

## 作文・詩の部

だいすきなおかあさん。あかちゃんできてから、おなかの中で上手に育ててくれて九月七日木曜日まで楽しみにしちよった。九月八日金曜日にじょうぶにがんばって、うんでくれました。今日会うのも楽しみです。ひめかの心にあふれていました。これからも、もしあかちゃんができたら、じょうぶにうんでください。

山田小学校 二年 西崎 姫華

# 第四回親守詩コンクール受賞作品

## 清水寺賞

### 建歌の部

お母さん 毎日仕事 おつかれさま  
 疲れがとれる 笑顔がみたい  
 お母さん 作ったごはん おいしいよ  
 いっぱい食べて 毎日元気  
 おとうさん ゆずのお仕事 ありがとう  
 わかっているよ すっぱい気持ち  
 赤野小学校 四年 谷岡 舜  
 赤野小学校 四年 岡林 怜皇  
 馬路小学校 六年 大野 暖人

## 安芸市教育長賞

### 定型詩の部

お母さん りょうり上手な たつじんだ  
 ひばあさん はやくびょうきを なおしてね  
 げんきになって となりでたべる  
 お父さん いっしょに遊んでくれて ありがとう  
 こちらこそだよ また遊ぼうね  
 ばあちゃん ご飯とっても おいしいよ  
 出たグーサイン 元気で育て  
 お母さん 毎日家事を ありがとう  
 きみの手伝い 千人力  
 きみがいるから ママ頑張るぞ  
 おかあさん 家事やおそうじ ありがとう  
 二十年後 お世話になります  
 ばあちゃん おいしいごちそう うれしいよ  
 まだまだ作るよ はやとのために  
 下山小学校 四年 小原 颯大  
 赤野小学校 三年 宮崎 琴子  
 赤野小学校 四年 岡林 暢一  
 馬路小学校 五年 大野 陽多  
 馬路小学校 五年 田中 柊聖  
 下山小学校 五年 森本 実姫  
 馬路小学校 六年 高橋 天音  
 馬路小学校 六年 清岡 隼斗

## 高知県社会福祉協議会 ほおつちよけん賞

### 定型詩の部

おかあさん あかちゃんうむの がんばってね  
 石うすに メダカ泳がせ 父昼寝  
 お味噌汁 よそう仕事は 私だよ  
 ハラハラするが おいしさ二倍 ひまわり学園 五歳 川村 彩七  
 おとうさん 二人で行こう 映画館  
 それは楽しみ 初デートだね あとむ学園 五歳 川西 百音  
 おかあさん たのしかったよ お茶たいけん  
 おはこびじょうず すてきなレディ 小高坂小学校二年 濱田 華凜

### 建歌の部

お母さん 毎日仕事 おつかれさま  
 疲れがとれる 笑顔がみたい  
 お母さん 作ったごはん おいしいよ  
 いっぱい食べて 毎日元気  
 おとうさん ゆずのお仕事 ありがとう  
 わかっているよ すっぱい気持ち  
 赤野小学校 四年 谷岡 舜  
 赤野小学校 四年 岡林 怜皇  
 馬路小学校 六年 大野 暖人

おばあちゃん かんびょうしてくれ ありがとう  
 快復したら あそびましよう 横内小学校 五年 野瀬 友晴  
 お母さん すてきなえがお 大好きだ 横内小学校 五年 西村 真輝  
 照らし続ける あなたのために

## コッコ・サン賞

### 定型詩の部

お母さん やさしい天使 ありがとう 横内小学校 五年 中屋 結奈  
 菊の花 心にしみる 父の愛 一般 藤崎富実子

### 建歌の部

わたしだけ 髪がクルクル なんでもなが  
 かわいいくせ毛 魅力のひとつ あとむ学園 四歳 植田 紗名  
 お父さん いつもいっしょ 楽しいな あとむ学園 五歳 清岡虎ノ介  
 どこにもいくな かわいい息子 横内小学校 五年 西森 悠人  
 宿題を 教えてくれて ありがとう 横内小学校 五年 溝渕 志道  
 間違え教えて ごめんなさい  
 めざましは お母さんの 大きな声  
 愛情こめて 毎朝さげぶ 横内小学校 五年 溝渕 志道

## 高知中央郵便局長賞

### 定型詩の部

おかあさん たのしかったよ お茶たいけん 小高坂小学校 二年 濱田 華凜  
 いつまでも 二人三脚 忘れない 伊野南中学校 三年 北 憲二

### 建歌の部

お母さん 仕事に家事も ありがとう あとむ学園 四歳 福元 音亜  
 当たり前だよ 家族だからね  
 お母さん いつもお仕事 頑張ってるね あとむ学園 五歳 近江 彩乃  
 エンケルよりも 効く子の応援  
 夏の音 せみがみんみん 木にとまる 山田小学校 三年 西口 大河  
 つかまえようよ 夏の思い出  
 いつまでも やさしくするよ おばあちゃん 横内小学校 五年 井上 瑠菜  
 こんないい子に 育ったんだね

## 日本教育文化研究所高知県支部賞

### 定型詩の部

生まれたら 僕の家族に 出会えたよ 旭中学校 一年 横山 奨  
 男らしい 仕事に出かける 父の背中 旭中学校 二年 倉松 健  
 おかえりと あったかい声が ホッとする 旭中学校 二年 仁井田 幸奈  
 お弁当 愛のこもった たまて箱 旭中学校 三年 西 恭加

# 第4回親守詩高知県大会156名の参加者 761作品の応募で盛会にて終了！

日時：平成29年11月12日(日) 13:00~15:00 会場：高知市中央公民館 かるぼーと9階和室  
主催：TOSS高知 共催：日本教育文化研究所高知支部 TOSS南国港free-way 高知五色百人一首協会 江戸千家不白会

## 1. 高知市中央公民館で開催

第4回親守詩高知県大会が高知市中央公民館(かるぼーと)にて開催された。表彰者、家族、一般参加者135名、講師1名来賓6名、スタッフ14名の合計**156名**が集い、表彰式が行われた。

今回は、表彰式前に、高知五色百人一首協会お茶教室によるおもてなしで始まった。これまでの親守詩の作品や全国の親守詩大会の様子のスライドを見ながら、お菓子や抹茶を飲みながら和やかに開催された。

## 2. 講話

親学推進協議会理事の杉本哲也氏による「親子の絆と親守詩」をテーマに記念講演を行った。子どもから大人まで話に引き込まれ楽しい時間であった。参加者も巻き込むロールプレイと、科学的・社会的根拠に基づいた理論を組み合わせたわかりやすい内容であり、アインシュタインから西郷隆盛のエピソードなども織り交ぜながらの笑いと情熱の、活気あふれる講演であった。



## 3. 表彰式

子から親へ、親から子へ「感謝の気持ち」や「愛情」を「ことば」で表した親守詩を披露。親子で詩を読みながらの表彰状の授与は、子供も親も自らを振り返り、「親子の絆」を深める時間となった。

## 4. 閉会式

審査員長の安岡雄三氏による講評をいただいた。親守詩は、「愛し、愛されたい」感情が往来している親守詩を日常的に展開し、温もりのある親子関係を築いてほしいというメッセージをいただいた。



## 【来賓の皆様】

浜田 豪太 様 (高知県議会議員)  
浜口 卓也 様 (高知市議会議員)  
宮崎 晃行 様 (香南市議会議員)  
安岡 雄三 様 (安芸市教育研究所長)  
山田 正雄 様 (高知中央郵便局長)

## 親守詩審査員講評 (安岡雄三氏)

親守詩の作品を読ませてもらった。親と子、祖父母と孫の心の機微に触れる、情感溢れる作品ばかりでした。連歌五七五七七に織り込まれた思いは、縦糸と横糸の思いが絡まり合い、家族の温もりに満ちた、優しい人間関係が紡がれていました。

つい、「うふふ・・・」と微笑んだり、「ははは・・・」と思わず笑ったり、「うーん・・・」と唸ったりさせてくれました。それはなぜだろうと考えると、作品の全てが素直で、ありのまま、お互いの思いをてらいのない言葉で表現しているからでしょう。

日常の何気ない家庭生活において、お互いが見つめ合いながら双方向的に感情が交錯しているのです。読み手に平和な穏やかな安堵感がいただけます。

「おかあさん せんたくもの たたんだよ (男子) その温もりは 胸にしまうね (母)」

この句は、私が大好きなものです。私はこの句を目にした瞬間、「絆」という私自身が忘れていた宝玉を手に入れた気がしました。洗濯物が陽に干されている。それを、取り込むだけではなく、畳むのです。畳む洗濯物の手ざわりも暖かかったでしょう。そして、その子どもの行為に<温もり>を感じた母は、衣装ケースではない<胸にしまう>のです。母子のほのぼのとした愛情の世界が繰り広げられていました。まさに、親守詩ならではの温もりのキャッチボールではないでしょうか。

ここに私は「人間観」や「世界観」を見た気がしました。人間というものの本質・真理・真実がうかがえたのです。母子の「愛し、愛されたい」感情が往来しているのです。

親守詩の心髄は、「絆」「愛情」を育むことです。子どもが親を観る、親の世界を知ると同時に、親もまた子どもを観る、子どもの世界を知ることにより、子どもと親子関係・家族関係、否、子どもを取り巻く人間関係へとアウフヘーベン(止揚統合)していくことを期待しています。

## 【参加者の声】 <子どもたち>

- ・すぎもとせんせいのおはなしがたのしかったです。
- ・抹茶がのめたり、楽しいお話が聞けたりしてよかったです。
- ・みんなの前で発表できて良い経験になりました。
- ・今日のはじめてこんな場所で表彰式、緊張しました。
- ・いろんな人の詩が良かったです。

## 【参加者の声】 <保護者>

- ・子どもがはっきりと話せてうれしかったです。
- ・講演も含めて心温かくなりました。より親も関係を深めていきたいと思いました。
- ・娘共々貴重な体験をさせて頂きました。また、応募したいと思います。
- ・すべて感動しました。杉本先生の講演も楽しくこれからも元気で頑張りたいと思いました。
- ・おいしいお茶のおもてなしありがとうございました。賞をいただいてとても光栄です。
- ・他のお子さんの詩にほっこりしました。
- ・本人の声で読む句は、印象深かったです。幼稚園の子供から高校生くらいまでたくさんの句を聞くことができ良かったです。講演もわかりやすく、納得したり反省しながら聞きました。
- ・あらためて家族、子供、孫のことを大切な存在だと感じました。ありがとうございました。



第5回親守詩全国大会 平成30年2月18日(日) 浜離宮朝日ホール(朝日新聞東京本社)にて開催  
<http://oyamoriuta-zenkoku.jp/>